

重点取組名	新規就農者の確保・育成
普及活動担当	農業総合センター総合調整部普及指導課 有吉俊明
主要な活動地域・対象農業者	県全域において、農家師弟、Uターン・Iターン就農希望者、農業高校生、小中学生等を対象とする。
取組結果・成果 〈取組みのねらい〉	<p>小中学校等での農業体験学習や農業高校生を対象とした緑の学園等の就農啓発活動、農業大学校と連携した後継者の就農促進、就農相談会や各種研修事業等によるIターン、Uターン希望者の確保や就農支援により、新規就農者の継続的、安定的な確保を図る。</p> <p>1 各種研修の実施 ・農業体験研修 11人 ・農業実務研修 28人 ・社会人就農研修 22人 ・サンデー就農ゼミ 24人</p> <p>2 就農相談会の実施 県外7回（75件 大阪、東京、北海道） 県内17回（78件 岡山、津山）</p> <p>3 就農相談件数の実績 電話：148件 就農相談会：153件 面接：72件 Eメール：59件</p> <p>4 就農支援コーナーの利用状況（岡山加Q-ワーク） 来所：55件 電話：9件</p> <p>5 新規就農HPのアクセス状況 農業会議HP：4,700件 農業経営課：14,600件</p> <p>6 教育との連携 農業高校生への就農啓発（緑の学園） 県下3ブロック 小中学校生への農業教育推進 県下9小中学校指定</p> <p>○新規就農者数（55歳未満） 115人/年間（目標100人/年間） 新規学卒就農：45人 Uターン（農家出身）：53人 新規参入：17人 ※定年帰農者（55歳以上65歳未満）15人</p>
連携機関、協議会等	5月13日岡山労働局会議室において岡山労働局や農業団体、県の担当者22名が参集し新規就農者に係わる情報を交換。
取組の特徴や取組に際しての工夫	<p>○ニューファーマー確保育成総合支援事業 ・市町村における新規就農者の確保育成に関する基本的な計画樹立 ・新規就農研修事業 農業体験研修：55歳未満の新規参入希望者を1ヶ月間農家にホームステイ 農業実務体験：55歳未満の認定就農者に研修費を支給しながら就農に向け実務的な研修を実施</p> <p>○岡山県農林漁業担い手育成財団 ・就農相談員の設置 ・新規就農相談活動の実施 ・就農アドバイザー（221名）による就農希望青年等への個別相談 ・就業奨励金の贈呈</p>
【参考】	